

(西暦) 2024年 2月 4日

RS ウイルス感染症の予防、診断、治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力  
のお願い

研究責任者	所属 <u>小児科学</u> 職名 <u>助教</u> 氏名 <u>住友 直文</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3816</u>
実務責任者	所属 <u>小児科学</u> 職名 <u>助教</u> 氏名 <u>住友 直文</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3816</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、古道 一樹までご連絡をお願いします。協力されない場合でも、特に診療内容、質が変わることは決してありませんので、ご安心ください。

### 1 対象となる方

慶應義塾大学病院で2025年12月31日までの間に、小児科にてRSウイルス感染症の予防、診断、治療のため入院または通院し、診療、手術、検査を受けた方

### 2 研究課題名

RSウイルス感染症重症化予防に関する研究 承認番号 20150108

### 3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部小児科学教室・慶應義塾大学病院小児科

学外共同研究機関

北海道立子ども総合医療・療育センター、岩手医科大学附属病院、医療法人達生堂城西病院、東京都立小児総合医療センター、東京女子医科大学、国立成育医療研究センター、長野県立こども病院、富山大学医学部附属病院、あいち小児保健医療総合センター、倉敷中央病院、地域医療機能推進機構九州病院

#### 4 本研究の意義、目的、方法

RS ウイルス感染症は、先天性心疾患や染色体異常をもつ新生児、乳児において、重篤な下気道感染を呈し、生命のリスク、生涯の喘息発症のリスクがある疾患であり、その重症化予防対策が必須である疾患です。この研究の目的は、RS ウイルス感染症重症化のリスク要因について検討し、重症化予防に役立てることです。診療情報を収集させていただきます。

#### 5 協力をお願いする内容

電子カルテから、病歴、血液検査所見、画像検査所見、処方記録を収集させていただきます。

#### 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2025年12月31日（予定）

#### 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号、生年月日のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

#### 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

小児科学教室 住友 直文 直通電話 03-5363-3816

以上